

令和 10 年度（2028 年度）入学者選抜における総合型選抜の新設について（予告）

令和 8 年 6 月に公表しました令和 10 年度入学者選抜より実施する総合型選抜の選抜方法等について、現時点において決定している内容をお知らせいたします。1 報で公表済みの内容にも一部変更が生じています。

なお、今後変更となる場合があるため、選抜方法等については、本学ホームページ並びに令和 9 年度公表予定の「令和 10 年度入学者選抜要項」及び「令和 10 年度学生募集要項」で必ずご確認ください。

○募集人員

学部学科	募集人員
生産システム科学部 生産システム科学科	一般枠 6 名 女子枠 1 名（一般枠との併願とする）
国際文化交流学部 国際文化交流学科	一般枠 5 名

※ 女子枠については、本学ホームページ女子枠 Q&A をご確認ください。

○出願資格等について

【出願資格】

以下の（１）及び（２）に該当し、出願希望学科の出願要件に該当すること。

（１）全学科共通の出願資格

次のア～ウのいずれかに該当する者

ア 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和 9 年 4 月から令和 10 年 3 月までに卒業した者及び卒業見込みの者

イ 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 9 年 4 月から令和 10 年 3 月までに修了又は修了見込みの者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 9 年 4 月から令和 10 年 3 月までに修了又は修了見込みの者

（２）合格した場合、入学することを確約できる者

【出願要件】

生産システム科学部 生産システム科学科

次の①～③いずれにも該当する者

①本学生産システム科学科への志望理由が明確である者

②次に定める科目の内容を履修した者（見込み含む。）

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」

- ※「数学Ⅲ」の履修は出願資格に含めないが、履修することが望ましい
- ③全体の学習成績の状況が 3.0 以上の者

国際文化交流学部 国際文化交流学科

次の①～④いずれにも該当する者

- ①本学国際文化交流学科への志望理由が明確である者
- ②高等学校在学時に学内活動、地域活動等に積極的に取り組んだことのある者（総合的な探究の時間に、顕著な成果をあげた者を含む。）
- ③出願期間までに本学が指定する教育プログラムの所定の条件を満たした者
- ④外国語の学習成績の状況が 4.0 以上の者

【本学が指定する教育プログラム】

国際文化交流学部 国際文化交流学科の出願要件③の本学が指定する教育プログラムの所定の条件については以下の通り。

受験する年度（令和 9 年度）の 4 月から出願期間（11 月初旬を予定）までに、(i) ～ (ii) より合計 7 ポイント以上を取得し、出願の際に所定の様式による教育プログラム参加報告書と作成したレポートをあわせて提出すること。なお、(i) より 1 つ以上選択すること。

- (i) 本学が指定する国際文化交流学部 国際文化交流学科教員の講義動画（オンライン）視聴及び所定の様式によるレポートの作成【各講義 3 ポイント】
- (ii) 以下に示す本学の対面イベントへの参加と所定の様式によるレポートの作成
- ・ふらっとキャンパス見学会【各回 1 ポイント】
 - ・オープンキャンパス【3 ポイント】
 - ・大学祭（青松祭）での国際文化交流学部 国際文化交流学科の企画【1 ポイント】

※ 出願時に提出することを求めている教育プログラム参加報告書、レポート等の成果物については、生成 AI によって生成されたものを受験生独自の成果物とは一切みなしません。

※ 取得合計ポイント数や教育プログラム参加報告書、レポート等は、出願要件の確認のみに利用し、選抜時の出願書類の評価には含みません。

（参考 令和 8 年度の上記対面イベントの開催時期）

No.	対面イベント名	開催時期
1	ふらっとキャンパス見学会	令和 8 年 6 月及び 10 月
2	オープンキャンパス	令和 8 年 7 月
3	大学祭（青松祭）	令和 8 年 10 月

※ イベントの内容、開催時期は毎年異なる可能性があります。

イベントの開催時期については本学ホームページ (<https://www.komatsu-u.ac.jp/>) で公表いたしますので、各自ご確認ください。

○選抜方法について

各学科において、以下の試験科目により、学習意欲や能力を総合的に判定します。

学部学科	科目名	配点	内容等
生産システム科学部 生産システム科学科	出願書類	100 点	出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書）を評価します。各書類の内容に基づき、基礎学力、勉学への意欲、これまでの活動の主体性や継続性、並びに将来の進路に対する目的意識や本学科との適合性等を総合的に評価します。
	プレゼンテーション	100 点	試験日当日に工学・ものづくりに関わる身近な事象について、高等学校等の基礎学力を用いて考察できる課題を提示します。受験者は所定の時間内に課題について考察を行い、その結果をまとめた資料を作成します。 作成した資料を基にプレゼンテーション（5分）及び質疑応答（5分）を行います。 課題への取り組み、発表資料、プレゼンテーション及び質疑応答では、提示された課題に対して自らの考えを展開する力、論理的に考察する力、内容を整理・構成する力、自らの考えを分かりやすく表現する力を評価します。
	数学の基礎に関する試問	100 点	本学科で学ぶ上で必要な基礎学力を確認します。
	面接（個人）	100 点	出願書類に基づいた面接を行います。学習意欲、目的意識、本学科の教育内容への理解及び本学科で学ぶために必要な資質・能力を総合的に判定します。
国際文化交流学部 国際文化交流学科	出願書類	100 点	出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書、英語外部試験のスコア）を評価します。各書類の内容に基づき、基礎学力、勉学への意欲、これまでの活動の主体性や継続性並びに将来の進路に対する目的意識や本学科との適合性等を総合的に評価します。
	プレゼンテーション	100 点	与えられた資料を利用し、45 分程度の準備時間の後、10 分程度、口頭でプレゼンテーションを行います。 提示されたテーマに対して自らの考えを展開する力と論理性、内容を整理し構成する力並びにそれを分かりやすく伝える表現力等を評価します。 プレゼンテーションのテーマは当日提示します。
	面接（個人）	100 点	プレゼンテーションの内容や出願書類に基づいて面接を行います。多面的な質問を通して、勉学意欲に加え思考力・表現力・主体性等を総合的に評価します。

○試験日・試験場について

学部学科	試験日	試験場
生産システム科学部 生産システム科学科	令和 9 年 10 月	栗津キャンパス
国際文化交流学部 国際文化交流学科	令和 9 年 11 月	中央キャンパス